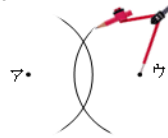


7 ゆかさんは、コンパスを使って、右の①～③のかき方でひし形をかきました。
このかき方は、ひし形のどの特ちょうを使っていますか。次の①～③の中から1つ選び、その記号を□の中に書きましょう。

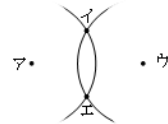
ひし形は、

- ① 向かい合った辺が平行である。
- ② 向かい合った角の大きさが等しい。
- ③ 2本の対角線が垂直に交わる。
- ④ 4つの辺の長さがすべて等しい。

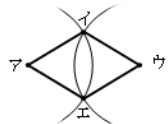
① 点ア、点ウを中心とする同じ半径の円をかく。



② 交わった点をそれぞれ点イと点エとする。



③ 4つの点を点ア→イ→ウ→エ→アと直線で結んで、ひし形の完成。



ひし形の判断 通過率 52.1%

解答類型		割合 (%)
○	②	52.1
×	①	12.1
×	③	15.1
×	④	19.7
×	上記以外の解答	0.4
—	無解答	0.6

誤答を見ると、③を選択している児童が最も多いが、①、③の誤答も同程度に多い。児童は、コンパスを使った作図の意味を解釈せずに、単にひし形の特徴を答えていると考えられる。

内容の系統

第3学年 図形
・二等辺三角形
・正三角形

第4学年 図形
・平行四辺形、
ひし形、台形

第5学年 図形
・多角形、正多角形
・図形の合同
・図形の性質

第6学年 図形
・縮図や拡大図
・対称な図形

中学校第1学年 図形
・平面図形(基本的な
作図の方法とその活
用)

提案 作図の操作と図形の性質を関連付けて、作図の意味が理解できるようにしましょう。

- 作図の操作とその意味を考えさせることで、作図は図形の約束や性質に基づいていることを理解させましょう。
 - ・ 二等辺三角形、正三角形、平行四辺形、ひし形などの作図の際にコンパスを用いさせるときには、コンパスを用いる理由を話し合う活動を設定する。
 - ・ その中で、コンパスを用い、等しい長さを写し取ることで辺の長さを等しくしていることを明確に捉えさせる。
- ひし形は、第4学年で学習する内容ですが、コンパスを使って作図することは、第3学年から行っています。上記の「内容の系統」を意識して、系統的な指導を行い、確実な知識・技能の定着を図ることが大切です。